カワウによる食害、疾病の蔓延

ては、河川環境の悪化、外来魚や

する対策を講じています。 等があり、現在でもこれらに対

しかし、山林に源流を発し最終

げ、河川でのアユの産卵場造成

この取り組みの一環として海

元事業」を本年度から立ち上

部では「森・川・海連携環境復

この様な考え方を元に、海洋



間伐作業の様子ご紹介します。 海面漁協、河川漁協、森林組合、 今回は、この「森・川・海連携環境復元事業」の一環として

目的とした事業に取り組んでいます

着目して、これらが連携して環境を取り戻していくことを 的な取り組みから一歩抜け出し、山・川・海のつながりに

> きつい傾斜と慣れないノコギリ の説明を受け早速作業を開始。 ました。森林組合の方から作業

ち鮎漁を禁止したという報道をよく目にします。

海洋部では本年度から、単に魚を増やすという対症療法

刻化するアユ資源の減少を少しでも食い止めるため、

落

間、途中からは悪路のため四輪 駆動車でのピストン輸送となり

現地は安芸市内から車で1時

の話題がよくマスコミに取り上げられますが、今年は、深

高知県の初冬の風物詩と言えば落ち鮎漁。

例年ならこ

が参加しました。

と低迷しています。この原因とし に激減し、近年では7百トン前後 産量は、過去10年で1/3以下 高知県の河川における漁業生

根本的な解決には至らず、 着目した総合的な視点での取 川海という水や物質の循環に 分野からの対策を講じて

拡がってきています。 り組みが必要という考え方が

> 皆さん悪戦苦闘していました。 る方もいました。

民間会社が協同で行った



界で一番始めに水没する国

賞受賞、海面上昇により世

ゴア元副大統領のノーベル

人類の業」

【編集後記】

みを進めていきます

山川海の連携を深める取り組 いう声もあったように、今後も を考えるきつかけになった」と とは出来ません。

「今回の間伐体験が山のこと

海域は好漁場として欠かすこ 網漁業にとっても、河川付近の かすことは出来ず、機船々びき 生息には、その生態から海は欠

としている。煩悩を捨てら 暴挙で利益をたたき出そう すという、現状を顧みない 能だった化石燃料を取り出

れない「ヒト」は文明と環境

河川で重要なアユ、ウナギの

O)

く押し込み、従来採取不可

は排出するCO2を地中深

い日はない。一方ある企業

境保護の話題が報じられな オゾンホールの拡大等々環

職員、海洋部職員の総勢50名 芸市森林組合員、安芸市役所 員、ニッポン高度紙の社員、安 この山林に源を発する安芸川

を共存させる術は持たない 「棚果夜品」
幼少期、父親に枝打ちや下草刈りによく連れて行かれた。遊ぶ時間も削られ嫌だったが、久しぶりに出し入って懐かしい記 が甦ってきた。山で食 た弁当の味、摘みたて 葉で沸かした茶の香り れた自分を背負う交易 …たまには墓掃 除にでも行くかな?

まずはお

●室戸漁業指導所 ●中央漁業指導所

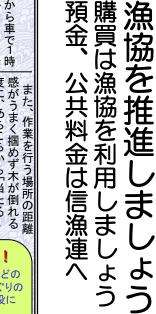
佐清水漁業指導所 TEL 0880-82-0569

TEL 0880-67-0767

っちゅうき運動不足よ~」と泣 を挟んで約2時間の作業でし 危ないぞ~」という声も。昼食 たが、大汗をかきながら「漁師 は船に乗っちょっても椅子に座 やかされるほど、なりきってい きが入る方がいる一方、「おま 度に、あちこちから「当たる~ んはどこへ行っても違和感がな すっかり山師じゃの~」と冷

立ちます

TEL 088-856-1164



坂東 海洋企画課 価 無料

高知県海洋部

高知市丸の内